

プロジェクト推進の全体スキーム

【県の取組み】

(1) 運動の構築、展開 【13,806千円】

- ・キャッチコピー、ポスター等を用いた運動理念の浸透
- ・テレビ・ラジオ等を活用したプロジェクトの浸透

(2) 取組み支援

① 活動団体支援 【28,000千円】

- ・プロジェクトのねらいに沿った活動の立ち上げを支援
(定額50万円)

② 市町村支援 【4,000千円】

- ・むらづくりに関する人材育成・体制強化等、市町村のイニシアティブ発揮を支援(定額20万円)

(3) 里モンプロジェクト顕彰 【763千円】

- ・他の模範となる優良な活動について、「集落」「個人、団体」「農山漁村への貢献」の3部門にて表彰



関連事業

各課が所管する事業のうち、プロジェクトのテーマに沿ったものについて関連事業として位置付け、プロジェクトの一環として推進を図る。

【地域活動】

美しい景観の保全、創造

- (1) 景観の保全
- (2) 農地・草原の保全
- (3) 生物多様性の保全

文化・コミュニティの維持、創造

- (1) 観光・福祉・環境・教育分野との連携
- (2) 歴史・文化分野との連携
- (3) コミュニティの支援

地域の資源を活用した内発的産業の創造

- (1) 特産品開発、6次産業化
- (2) 都市農村交流
- (3) 小規模発電

美しい農村が
後世に引き渡さ
れる

人が集まり
活力が生まれ
る

+αの
ゆとりが生ま
れる

持続可能な農村
元気な農村
(豊かさ・プライド)
の実現

■運動の構築、展開 運動の広がり(例)

美しい農村景観 の保全・創造

■玉名駅周辺では、イエロープロジェクト等の取組みが進められています。

■山都町では、棚田オーナー制度を活用し、都市住民による棚田保全の取組みが進められています。

■山鹿市では、熊本県で最初に景観農振計画が策定されました。また、阿蘇地域では、世界農業遺産登録を契機に、新たに景観農振計画の策定に取り組んでいます。



農業と福祉の連携 ～ムラの癒し力発見モデル事業～

■農業・農村の持つ「癒し力」を心身のケア等に役立て、農山漁村活性化を図る取組み。

■認知症・精神に障がいをお持ちの方等による農業体験や交流活動等をとおして、症状緩和や意欲向上等に効果が見られました。



都市と農村の交流 ～くまもと農人プロジェクト～

■県とNPOの協働によるプロジェクト。

■農山漁村と都市住民・企業等をマッチングし、交流や支援活動を応援するプロジェクトで、HP、フェイスブック、ツイッターerを活用し、サポーター登録数は2,000人以上に上っています。

■この取組みにより、農山漁村の情報誌の発行、農村応援ツアーや交流マーケットの開催等に取り組んでいます。

